HP 掲載

令和5年度　全国学力・学習状況調査の結果

船橋市立金杉小学校

金杉小学校の令和5年度全国学力・学習状況調査の結果分析について以下公開をいたします。なお、調査の結果は児童の学力全てや教育活動のすべてを計るものではありません。調査の結果は学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一面であることを申し添えます。

○全国学力・状況調査結果

1. 教科に関する調査の結果に見られる特徴

国語	・昨年度と比べるとどの内容も正答率は高い傾向にあるが、全国・県の正答率は若干下回っている。 ・「思考力・判断力・表現力」の「話すこと・聞くこと」の領域の正答率が高く、全国・県の正答率を上回っている。 ・記述式の正答率が高く、短答式の正答率が低い。
算数	・どの領域も全国・県の正答率と同等、もしくは若干上回っている。 ・「図形」「変化と関係」「データの活用」の領域の正答率が高く、全国・県の正答率を上回っている。 ・「数と計算」の領域については、全国・県の正答率と比べて、若干正答率が低かった。 ・「記述式」の正答率が高く、無回答率も少なかった。

2.児童質問紙に見られる特徴

教科への関心	・学習に対して、意欲的な児童が多い。特に算数に対して肯定的な回答が多く、教科に関する調査の結果につながったと考えられる。
規範意識 自尊感情	・規範意識が高い児童が多い。 ・友達との関わりや学校生活を楽しいと感じている児童が多い。
生活習慣 学習習慣	・朝食を摂っている、睡眠時間を確保しているなどの規則正しい生活習慣が送れている児童が多い。 ・テレビゲームやSNSなどに費やしている時間が多く、読書をする時間が少ない。 ・家庭での学習時間は、全国・県と比べて少ない。

○学力向上への手立て

教科

国語	・様々な教科での学校図書館の利用。児童一人一人に様々なジャンルの本への興味を待たせられるような取組。学校司書による、読み聞かせ本の選定。 ・資料の活用や音読指導の徹底による正しい言葉や語彙の獲得。
算数	・「数と計算」の領域を中心とした、基礎基本の学習の定着。 ・当該学年だけでなく、系統性や発達段階を意識した授業づくり。 ・算数の言葉を大切にし、文章から自分で式や図を考えられる力の育成。

全体的に

○基礎学力の定着を目指し、自ら学ぶ児童の育成を目指した算数指導の研究。

○5 段階の自力解決学習を基にした、「金杉スタンダード」による授業の実践。

○学習問題、まとめ、授業や単元ごとの振り返りなど、学んだことを自分の言葉で書く活動の推進。

○日頃の音読の取組の強化。学力向上委員会での音読の取組への振り返り、様々な音読方法の提案、実施状況の報告。

○「特別の教科　道徳」の推進。

○月2回の「学びタイム」、長期休み期間中の「金杉ゼミナール」といった個別に学習の補填ができる時間の設定。